

令和2年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番 13 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思います。 ・学力調査・定期試験における通過率30%未満の割合、10%の目標は妥当と思いますが、本当にAIにしようと思うと大変な努力が必要だと思います。 ・概ね理解できます。 ・今まで通り家庭の協力を得て、補充学習、本気塾を進めてほしいです。 ・結果が出ている。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと工夫が見られて良いと思います。 ・学校評価と同じです。 ・概ね理解できます。 ・授業についていけない子どもに個別支援、補充学習、質問教室、本気塾、是非進めてほしい。 ・小中一貫教育の強みで、生徒達自ら豊かに「たて・よこ」の関係で学び続けて、学園連動の能力育成に期待しています。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な分析だと思います。 ・学校評価の分析と同じです。 ・概ね理解できます。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと工夫が見られて良いと思います。 ・改善策についても、学校評価と一緒にです。 ・コロナ禍が契機となり、行事の精選や、スクールサポートスタッフの活用がすすむことは、いいことだと思います。 ・生徒が学校行事等に主体的に行動できる場面を多く作ってほしい。しっかり考えて正しい行動ができる子ども達になってほしいです。 ・メディアコントロール・家庭学習時間チェック表の活用が促されていない一部の生徒以外、取組が良かったと思います。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場ではコロナウイルスへの対応に追われ、大変な日々が続いていることと思います。それでも、本日見せていただいたような授業が展開されていることに敬意を表します。 ・コロナの影響を受けて、経済的にも精神的にも苦しんでおられる保護者も多いと思います。家庭の状況の厳しさを感じながらも、何とか踏ん張って登校している生徒もいるはず。「生徒と向き合う時間の確保」が指標に入っていますが、そういう生徒がいるに違いないという想像力をもって、生徒に接していただきたいです。また、こういう時期だからこそ、先生方同士も、お互いに愚痴がこぼしあえるような時間が確保できるとよいと思います。 ・コロナ禍で先生方もいろいろ大変だったのではないかと思います。今年もあと約二ヶ月ですが、お体を大切になさって下さい。 ・参加できず申し訳ありません。コロナにより、思った通りの指導が難しいと思います。子ども達の変化に気を配りながら、新しい指導を考えてほしいと思います。 ・授業を見て回る中で、あるクラスが数学の「概数」を勉強していました。基礎的で、一見すると地味な項目ですが、社会に出て十分活用できる大切な学問であることは、私自身社会に出て気づきました。たとえば、企業の入社試験にはフェルミ推定によって概数を求める問題がしばしば使われています。「日本中に電信柱は何本あるか？」との間に、投げ出すのではなく、どのように類推して回答を導き出すのかは、私も興味があります。フェルミ推定は数学という学問には珍しく「正解」がありません。その類推(想像)を広げてくれることの重要性を教えているようで、数学というより社会学かもしれません。今回の(も)アンケートで、数字がたくさん出てきましたが、あくまでもそれらは指標であり、結果ではないと考えます。その指標から「生徒の実態」を読み取り、現場にフィードバックしていただくことが、生徒にとっても、教職員にとっても肝要であると思います。 ・8の3の英語の授業はすべて英語ですばらしいと思った。全学年を参観しましたが、子ども達が真剣に取り組んでいるのに感心しました。 ・コロナウイルスの感染を心配していたけれど、生徒達のマスク、手洗いがなされ、スクールサポートスタッフの方に消毒等をしていただき、安心しました。 ・放課後学習をしている。うれしいです。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣が守れるように、メディアコントロール週間で保護者との連携を密にし、全学年で引き続き取組を進めていく。 ・丁寧に教えるだけでなく、生徒への「伝え方」にも工夫をする。 ・授業において、めあてを「学習活動」ではなく、「何ができるようにするか」を明確にし、振り返りの時間を確保する。 ・授業以外で、生徒とのコミュニケーションをとることも大切にしていける。 ・行事の精選を図り、生徒の心に寄り添う時間を確保していく。
--------------------	---